

発達障害にとっての社会的障壁と合理的配慮

平成28年、発達障害者支援法の一部が改正され、「社会的障壁により」という文言が新たに付け加えられました。「社会的障壁」とは何でしょう？ 「社会的障壁の除去」には具体的にどのような方法が考えられるのでしょうか？ 全国LD親の会が、平成30年10月から取り組んだ厚生労働省平成30年度障害者総合福祉推進事業「発達障害者の顕在化されにくい読み書き困難についての実態調査」結果も踏まえて、改めて考える機会にしたいと思います。

日時：2019年6月16日（日） 9:40～16:30（開場 9:10）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟5階 501
（渋谷区代々木神園町3番1号）

参加費：1,500円

定員：160名（定員に達し次第、締め切ります）

【プログラム】

9:40 開演挨拶

9:45 基調講演 「社会的自立を支える力」

品川 裕香 氏（教育ジャーナリスト）

11:15 行政解説 「特別支援教育の動向について」

俵 幸嗣 氏（文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課）

12:00～13:00 昼休憩

13:00 行政解説 「発達障害支援施策の動向について」

澤口 浩司 氏

（厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課地域就労支援室）

田中 尚樹 氏

（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課

障害児・発達障害者支援室 発達障害施策調整官）

14:30～14:45 休憩

14:45 シンポジウム（厚生労働省平成30年度障害者総合福祉推進事業報告）

「発達障害者の顕在化されにくい読み書き困難の現状」

報告1 アンケート報告から 東條 裕志 （NPO法人全国LD親の会）

報告2 本人ヒアリングから 品川 裕香 氏（教育ジャーナリスト）

報告3 支援者ヒアリングから 井上 育世 （NPO法人全国LD親の会）

コメント 田中 尚樹 氏

（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室）

16:30 終演挨拶

主催：NPO法人全国LD親の会

後援：厚生労働省、文部科学省、一般社団法人日本発達障害ネットワーク、
一般社団法人日本LD学会、NPO法人日本障害者協議会

申込方法 [一般参加の方]

[一般参加の方] メール：jpald201906@gmail.com

FAX：03-6276-8985

- ※ ①参加者氏名（フリガナ） ②所属 ③連絡先（メールアドレスまたはFAX番号）
④お住まいの都道府県 を明記の上、メールかFAXにてお申込みください。
- ※ お申し込みの際の件名は「第18回公開フォーラム」としてください。
- ※ 申し込まれた方には受付完了の連絡をお送りさせていただきますので、携帯電話からのお申し込みの場合、PCからのメールを受け取れるようにしておいてください。
- ※ 参加費は、当日会場受付にてお支払いください。

[全国LD親の会会員の方は、所属の会あてにお申し込みください。]

【全国LD親の会公開フォーラム申込 FAX用紙】

お名前	
ご所属	
ご連絡先	E-mail または FAX
お住まいの都道府県	
備考等	

国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

<交通> 小田急線 参宮橋駅 下車 徒歩約7分

地下鉄千代田線 代々木公園駅 下車

(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分



JPA LD NPO 全国LD親の会
法人

NPO法人全国LD親の会・事務局 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-26-5 バロール代々木 415

TEL/FAX:03-6276-8985 E-MAIL:jimukyoku@jpald.net URL:http://www.jpald.net/